



日野そら豆 だより

Vol. 3

平成25年 8月 1日
そら豆の会事務局(透析室)
連絡先:日野市立病院 透析室
TEL 042-581-2677(代)
Mail:touseki@m3.hinocatv.ne.jp

☀平成25年 7月 12日(金)【日野そら豆の会】の3回目の会合と病院スタッフによる研修会が行われました

当日は市立病院3階の講堂を使用して、大川会長をはじめ会員9名が参集し、普段の食事^注意しなければいけない事や、生活面での注意事項などを中心に、会員同士による懇談と情報交換を行いました。

その後、午後4時から河内院長相談役、村上副院長など多数の病院スタッフが参加し、村上副院長より災害時の透析医療に対する東京都の対策や、市立病院の取り組み、新しい透析室機器について講演がありました。また、以前より患者会から要望のあった、透析室へのテレビ設置について病院総務課より報告があり、河内相談役より今後の透析室拡張計画や、市立病院第2次改革プランの説明がありました。最後に、会員からの質問に村上副院長が答える形で質疑応答があり、午後5時頃に散会となりました。



講演内容の概略と報告事項(敬称略)

- 1、以前より患者会から要望のあった、透析室へのテレビ配置に関して、この秋(10月までをめぐりに)までに、病棟と同じ有料のカードを使用する形式で、全ての透析ベッドに設置することにした。(総務課・中村)
- 2、透析室は、昨年9月に機器の入れ替えを行い、最新機器の導入により透析用水管理が向上し、新しい治療方法の導入など、透析医療における最先端の治療を行っている(村上・透析スタッフ)
- 3、災害時における透析医療に関しては、日本透析医会や東京都、三多摩治療医会の協力関係も確立している。市立病院でも毎年全国規模で行われている、災害時情報伝達訓練に参加していて、三多摩地域での協力関係に貢献している。また、市立病院内でも、新たな災害時マニュアルの改訂や、災害時業務継続計画の策定を行い、万全の態勢を造って行きたい。(村上)
- 4、去年の電子カルテ導入から、村上副院長をはじめとしたスタッフには大変なご苦勞をかけた。おかげで電子カルテを中心とした各システムも順調に稼働している。今後、透析室はベッド数を増やし、拡充を行う計画でいる。病院第2次改革プランと合わせ、充実した透析室として行きたい。患者会の皆さんにも協力をお願いします。(河内)



まずは大川会長を中心に、近況報告を兼ねて会員同士の懇談と情報交換。塩分、水分など普段の食事管理は大事ですよ～…中にはちょっと耳が痛い方も…





総務課より、会員さんの要望に答え、透析室の各ベッドにテレビを配置するとの報告がありました



村上副院長の講演！
災害時の対策を暑く語って頂きました。

河内相談役より、今後の透析室拡張計画や、病院第2次改革プラン、電子カルテ導入時の苦勞話などしていただきました。



日頃の悩みや疑問、いろいろ答えて頂きました。



最後は、参加してくれた病院スタッフの自己紹介！何かあった時は、お世話になる病棟や外來の看護師さんたち。いっぱい参加してくれました。全員載せられなくてすみません。



暑い中出席していただき、お疲れ様でした。今年はまだまだ暑い日が続きそうです、体調管理に気をつけましょう……事務局